

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月12日 (2010.2.12)

【公表番号】特表2009-520033(P2009-520033A)

【公表日】平成21年5月21日 (2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-547454(P2008-547454)

【国際特許分類】

C 0 7 D 321/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/357 (2006.01)

C 0 7 D 319/20 (2006.01)

C 0 7 D 317/46 (2006.01)

A 6 1 P 25/30 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 P 25/34 (2006.01)

A 6 1 P 25/36 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 321/10 C S P

A 6 1 K 31/357

C 0 7 D 319/20

C 0 7 D 317/46

A 6 1 P 25/30

A 6 1 P 25/32

A 6 1 P 25/34

A 6 1 P 25/36

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月16日 (2009.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

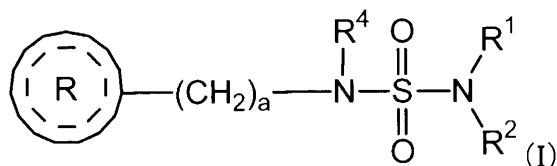
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物質乱用もしくは依存症を治療するための製薬学的製剤の製造における、下記式 (I) で表される化合物またはこれの製薬学的に受け入れられる塩の使用方法：

【化 1】



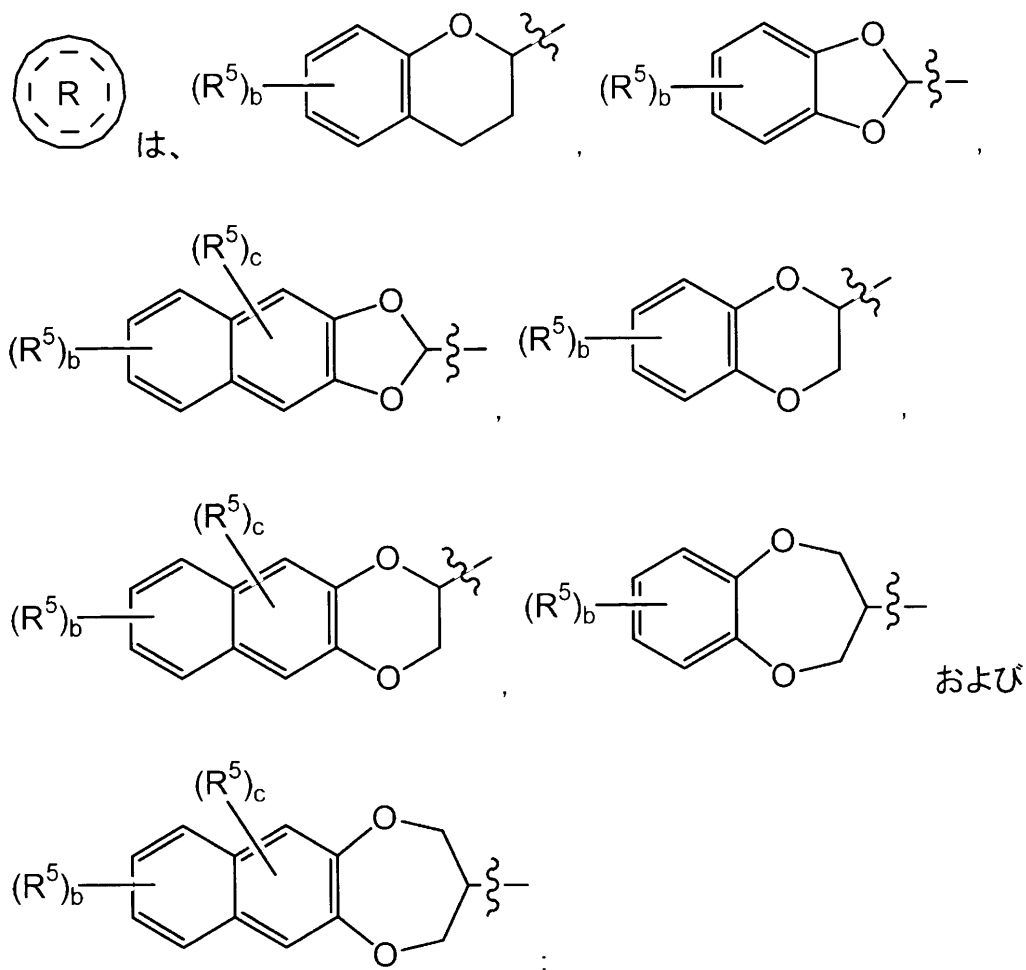
式中、

R¹およびR²は、各々独立して、水素および低級アルキルから成る群から選択され；

R⁴は、水素および低級アルキルから成る群から選択され；

aは、1から2の整数であり；

【化 2】

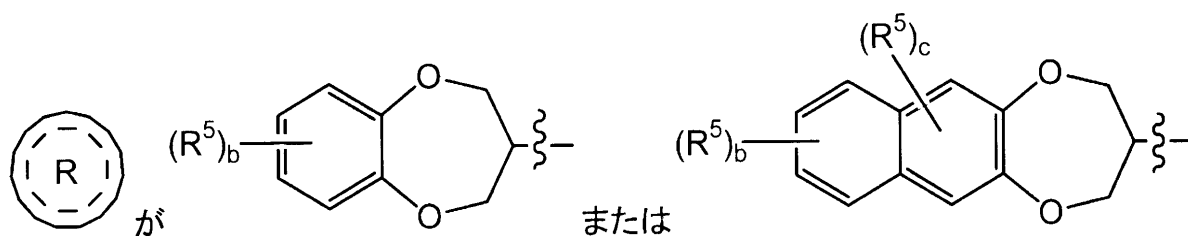


から成る群から選択され、ここで、

b は 0 から 4 の整数であり；そして c は 0 から 2 の整数であり；

各 R^5 は、独立して、ハロゲン、低級アルキルおよびニトロから成る群から選択されるが；但し

【化 3】



の時には a が 1 であることを条件とする。

【請求項 2】

式 (I) で表される化合物またはこれの製薬学的に受け入れられる塩において、 R^1 および R^2 が各々独立して水素および低級アルキルから成る群から選択され；

R^4 が水素および低級アルキルから成る群から選択され；

a が 1 から 2 の整数であり；

 が、

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

 ,

各 R⁵が独立してハロゲン，低級アルキルおよびニトロから成る群から選択されるが；但し

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

 が

 または

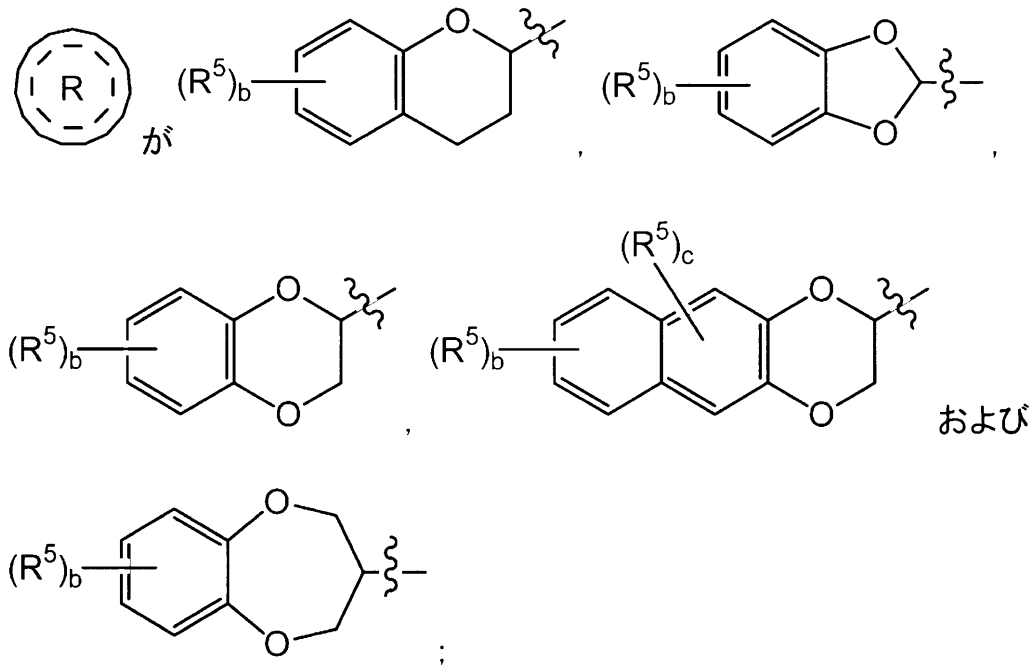
 が

 または

 が

a が 1 から 2 の整数であり ;

【化 6】

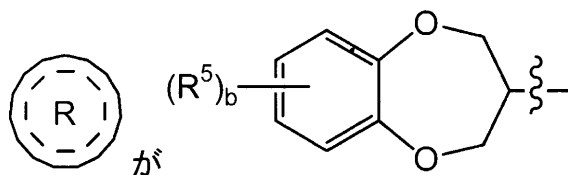


から成る群から選択され、ここで、

bが0から2の整数であり；そしてcが0であり；

各R⁵が独立してハロゲン，低級アルキルおよびニトロから成る群から選択されるが；但し

【化 7】



の時にはaが1であることを条件とする；

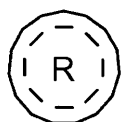
請求項2記載の方法。

【請求項 4】

式（I）で表される化合物またはこれの製薬学的に受け入れられる塩において、R¹およびR²が各々独立して水素および低級アルキルから成る群から選択され；R⁴が水素およびメチルから成る群から選択され；

aが1から2の整数であり；

【化 8】



が2-（2，3-ジヒドロベンゾ〔1，4〕ジオキシニル），2-（ベンゾ〔1，3〕ジオキソリル），2-（3，4-ジヒドロ-2H-ベンゾ〔1，4〕ジオキセピニル），2-（2，3-ジヒドロベンゾ〔1，4〕ジオキシニル），2-（6-クロロ-2，3-ジヒドロベンゾ〔1，4〕ジオキシニル），2-（6-フルオロ-2，3-ジヒドロベンゾ〔1，4〕ジオキシニル），2-（クロマニル），2-（5-フルオロ-2，3-ジヒドロベンゾ〔1，4〕ジオキシニル），2-（7-クロロ-2，3-ジヒドロベンゾ〔1，4〕ジオキシニル），2-（6-クロロベンゾ〔1，3〕ジオキソリル），2-（7-ニトロ-2，3-ジヒドロベンゾ〔1，4〕ジオキシニル），2-（7-

メチル-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(5-クロロ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(6-ブロモ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(6, 7-ジクロロ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(8-クロロ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(2, 3-ジヒドロ-ナフト [2, 3-b] [1, 4] ジオキシニル) および 2-(4-メチル-ベンゾ [1, 3] ジオキシニル) から成る群から選択されるが、但し

【化 9】



が 2-(3, 4-ジヒドロ-2H-ベンゾ [1, 4] ジオキセピニル) の時には a が 1 であることを条件とする;

請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

式 (I) で表される化合物またはこれの製薬学的に受け入れられる塩において、 R^1 および R^2 が各々独立して水素およびメチルから成る群から選択され;

R^4 が水素およびメチルから成る群から選択され;

a が 1 から 2 の整数であり;

【化 10】



が 2-(ベンゾ [1, 3] ジオキシニル), 2-(2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(6-クロロ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(7-クロロ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(7-メチル-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル), 2-(6-ブロモ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル) および 2-(6, 7-ジクロロ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル) から成る群から選択される;

請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

前記式 (I) で表される化合物を (2S) - (-) -N-(6-クロロ-2, 3-ジヒドロ-ベンゾ [1, 4] ジオキシニル-2-イルメチル)-スルファミドおよびこれの製薬学的に受け入れられる塩から成る群から選択する請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコール, コカイン, ヘロイン, メタンフェタミン, ケタミン, エクスタシー, ニコチン, オキシコドン/オキシコドン, コデインおよびモルヒネから成る群から選択される請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコール, コカイン, ヘロイン, メタンフェタミンおよびニコチンから成る群から選択される請求項 1 記載の方法。

【請求項 9】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコールまたはニコチンである請求項 1 記載の方法。

。

【請求項 10】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコールである請求項 1 記載の方法。

【請求項 1 1】

物質乱用もしくは依存症を治療するための製薬学的製剤の製造における、(2S) - (-) - N - (6 - クロロ - 2, 3 - ジヒドロ - ベンゾ [1, 4] ジオキシシン - 2 - イルメチル) - スルファミドおよびこれの製薬学的に受け入れられる塩から成る群から選択した化合物の使用方法。

【請求項 1 2】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコール、コカイン、ヘロイン、メタンフェタミン、ケタミン、エクスタシー、ニコチン、オキシコンチン／オキシコドン、コデインおよびモルヒネから成る群から選択される請求項 1 1 記載の方法。

【請求項 1 3】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコール、コカイン、ヘロイン、メタンフェタミンおよびニコチンから成る群から選択される請求項 1 1 記載の方法。

【請求項 1 4】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコールまたはニコチンである請求項 1 1 記載の方法。

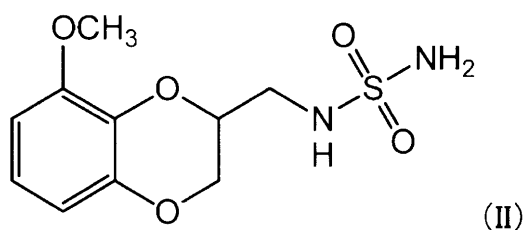
【請求項 1 5】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコールである請求項 1 1 記載の方法。

【請求項 1 6】

アルコール乱用もしくは依存症を治療するための製薬学的製剤の製造における、式 (I)

【化 1 1】



で表される化合物またはこれの製薬学的に受け入れられる塩の使用方法。

【請求項 1 7】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコール、コカイン、ヘロイン、メタンフェタミン、ケタミン、エクスタシー、ニコチン、オキシコンチン／オキシコドン、コデインおよびモルヒネから成る群から選択される請求項 1 6 記載の方法。

【請求項 1 8】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコール、コカイン、ヘロイン、メタンフェタミンおよびニコチンから成る群から選択される請求項 1 6 記載の方法。

【請求項 1 9】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコールまたはニコチンである請求項 1 6 記載の方法。

【請求項 2 0】

前記乱用もしくは依存症の物質がアルコールである請求項 1 6 記載の方法。